

令和3年 9月 7日

人吉市議会議員 西 信八郎 様

復興のまちづくりに関する特別委員会
委員長 宮原 将志

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	令和 3年 9月 6日（月）10時～12時
会 場	あゆの里（人吉市九日町30）
出席議員	復興のまちづくりに関する特別委員会 【委員長】宮原将志 【副委員長】西 洋子(進行) 【委員】大塚則男、田中 哲、本村令斗、豊永貞夫、平田清吉、 徳川禎郁、池田芳隆（記録者）
団体名	人吉ひかりの復興プロジェクト 代表 有村 充広
参加人数	【人吉ひかりの復興プロジェクト】 4名 【議員】 9名 計13名（他傍聴4名）
テーマ	ひかりの復興計画について 今後の観光まちづくりについて
意見交換会の概要	人吉ひかりの復興プロジェクト有村充広代表の簡単な事業説明を含めた挨拶後、宮原将志委員長の参加者紹介を含めた挨拶がある。 まずは、長町志穂氏(株LEM空間工房)から、「あかり」がもたらす経済効果についての説明と令和2年度に行われた「人吉ひかりの復興計画」実証実験の結果報告があった。また、「人吉あかりの社会実験 2021」について、今後の実証実験について説明がなされた。 説明終了後、委員から質問に対し、長町氏から回答をいただく形式で進んだ。 質問①紺屋町通(人吉相良17号線)の路面改修のイメージはどのようなものか。 回答①半たわみ性舗装をして、アスファルトに目地を入れ石畳み状にする。観光地ではよく行われている。

	質問②「あかり」が植物とか川の生物へ与える影響、デメリットは。 回答②稲はダメ。田の近くには問題がある。鮎などに対する研究はないので不明。直接、川に落ちるあかりは難しいと思う。 質問③今後、人吉で行っていく上で、行政に対しどのような支援策を求められるのか。 回答③方針を決めていただいて、少しずつやっていって欲しい。前向きな気持ちをもって進めていただきたい。熊本県も理解があると思っているので、少しずつでよいので取り組んでほしい。 質問④人吉城跡は、水害が心配。時期が限定されるのでは。 回答④いずれは常設できると考えている。流されないような方法があると思う。安全なやり方では11月から4月ごろの期間があるのか。天橋立が国定公園のため常設ができず、7月から9月に設置している。 質問⑤市街地を外れたところではブルー系の防犯灯を兼ねたものがあるかどうか。 回答⑤ブルー系が犯罪抑止になるという話があるが暗いのでやめたほうが良い。電球色が良い。 質問⑥九日町、紺屋町があかりが重要と考える。しかし、町は解体中。復興には難しいのでは。 回答⑥複合した住宅づくり、街づくりが必要。新たな枠組みで建築の専門家を呼び、街路計画を。 質問⑦屋台村を作る話もある。統一感があるようにするにはどうすればよいか。 回答⑦条例を作る。ルールを作り、「あかり」は電球色に統一する。全体計画を急ぐべき。 以上、質問のやり取りがある。 西副委員長から今後とも意見交換会を続けていきたいと申し出があり、会が終了した。
--	---